

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 石岡市立園部中学校 】

1 実践テーマ	I ・ V
2 実施対象者 (学 年 ・ 人 数)	全学年生徒・173名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 (教育講演会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	パラリンピックの意義や歴史を知ること、パラリンピックへの興味・関心を高めるとともに、今後のスポーツライフや生き方に生かすとともに、何事にも前向きにチャレンジしようとする態度を育成する。
5 取組内容	(1) 国際パラリンピック委員会公認教材『I'm POSSIBLE』の活用 ①授業実践Ⅰ『パラリンピックってなんだろう?』 ②授業実践Ⅱ『勇気・強い意志・インスピレーションについて考えてみよう』 ③授業実践Ⅲ『公平について考えてみよう』 ④授業実践Ⅳ『パラリンピアンからの日常生活からバリアフリーについて考える』 ⑤授業実践Ⅴ『パラリンピックスポーツについて学ぼう』 ⑥授業実践Ⅵ『パラリンピアンの魅力に迫ろう』
	     

(2) 講演会

○講師 アスレティックトレーナー 宇治野 藍 氏

○演題「アスリートにとっての2020」

○内容

- ・オリンピックやパラリンピックは4年に1度の大会に向けて、どのような取組やチャレンジを続けてきたのか
- ・選手のチャレンジを支える役割にはどのようなものがあるか
- ・今年の新型コロナウイルス感染症によるオリンピック・パラリンピックの延期が、選手にどのような影響を及ぼしたのか



(3) 講演会の感想記入

(4) 講演会について学校便りやホームページに掲載

6 主な成果

- パラリンピックの歴史や意義、競技やルールの違いなどについて理解を深めることができたとともに、パラリンピックへの関心が高まった。
 - オリンピック・パラリンピックを支えるアスレティックトレーナーの講演を行うことで、オリンピックやパラリンピックは選手だけではなく、様々な人の支えで成り立っている大会であること、オリンピック・パラリンピックに向けて選手がどのようなチャレンジや準備をしているのか、今回の大会の延期によって、選手にどのような影響を与えているのかなど具体的なお話をうかがうことができた。それを通して、チャレンジすることの大切さや、自分のチャレンジを支えてくれる周りの人の存在について考えることができた。
 - パラリンピックの競技について学習したことで、スポーツの素晴らしさを改めて知るとともに、障害がある人でも公平に競技をすることの大切さや生活の中での公平についても考えを深めることができた。
- 〈生徒の感想から〉
- ・アスリートを支えるという仕事はとても大切な仕事だと知ることができた。スポーツ選手はたくさんの人の支えがあって試合ができていたのだと改めて感じた。
 - ・練習ができなかったり大会が中止になったりしている中でも、選手は新たな目標を見つけて頑張っていることがよく分かった。

	・オリンピックだけでなくパラリンピックにも興味をもち、障がいのある人が困っているときは声をかけたりして助けてあげようと思った。 ・オリンピックやパラリンピックは障がいをもっているひとともそうでない人も、世界中の人が輝くことができる場所だと思った。 ・パラリンピックが東京で行われることにより、バリアフリーが進むなど、障がい者への理解が深まると思った。 ・オリンピックやパラリンピックのイベントがあったら、ぜひ参加してみたい。 ・オリンピックやパラリンピックでたくさんの選手が自分の目標へ向かい一生懸命頑張る姿を見て、私の将来の夢を実現させるための気持ちを一押ししてもらいたいと思った。 ・自分の目標や夢をもって、失敗してもその目標や夢を叶えられるように何度も挑戦したいと思った。 ・オリンピックやパラリンピックの選手のように勇気を出して、これからも色々なことに挑戦していきたい。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	○パラリンピックやパラスポーツを中心に取り上げることで、これまでは関心が低かったり、目にすることが少なかったりする生徒でも興味・関心が高まるようにした。 ○選手を支える立場であるアスレティックトレーナーの講演を行うことで、スポーツには多様な関わり方があることを知ることができるようにした。
8 主な課題等	○当初はパラリンピアンを招いて講演会を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、移動に制限がかかったため、実現できなかった。実際の選手が、実演などを交えて講演をしていただければ、さらに興味・関心が高まったと考える。 ○映像や授業、講演などでパラスポーツについて知ることはできたものの、実際に体験をする機会が得られなかったため、今後は体験を交えて生徒の興味・関心を高めていきたい。
9 来年度以降の実施予定	○今回の学習を通して、パラリンピックやパラスポーツ等への理解を深めるとともに、関心を高めることができた。毎年1年生で実施している福祉体験ともタイアップしながら、パラスポーツを実際に体験したり、パラスポーツを通じた交流を深めたりして、パラリンピックやパラスポーツに対する興味・関心を深めていきたい。 ○今回の学習を通して学んだ、『勇気・強い意志・公平・インスピレーション』について、学級活動や道徳、行事などスポーツ以外の場面でも理解を深め、実践力を身に付けられるようにしていきたい。